報道関係者 各位様

2011年3月9日
ショートショート実行委員会

目指してる、未来がちがう。
SHARP × SHORTSHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2011

シャープ スマートフォン3Dコンテストと米国アカデミー賞公認国際短編映画祭が初共演！

ショートフィルムで楽しむ3D映像の世界「3D部門」

SHARP SMARTPHONE 3D CONTEST CGアニメーション部門

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）」（代表・別所哲也）は、シャープ株式会社（http://www.sharp.co.jp/）とのコラボレーションにより、同映画祭初の「3D部門」をスタートします。4月1日（金）よりウェブサイト上で募集が開始される「シャープ スマートフォン3Dコンテスト CG・アニメーション部門」の優秀作品3作品は、SSFF & ASIA 2011の3D部門にノミネートされ、世界中の3Dショートフィルムと共に、3D部門優秀賞候補となります。また3D部門優秀賞は、6月中旬より開催の「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011」にて発表されます。

3Dエンターテイメントの世界は、発展途上の段階

市場を牽引するパイオニアとして、ハードを作り出す側、ソフトを作り出す側という垣根を取り除き、双方向から3Dエンターテイメントを盛り上げて行きたいと考えるシャープ株式会社と、映画界の新たなエンターテイメント創出に加え、若手クリエイターの発掘、育成を目指すSSFF & ASIAは、今回のコラボレーションにより、発展途上の段階にある3Dエンターテイメントの世界を広げて行きたいと考えています。

［ シャープ スマートフォン 3Dコンテスト CG・アニメーション部門 ］

応募 → シャープ事務局にて選考 → 投票ランキングで10位以内 / 予選審査 → 審査会 → シャープ3Dコンテスト入賞

応募要項：3月9日（水）11：00～発表予定
作品応募期間：4月1日（金）12：00～5月29日（日）24：00
応募資格：日本国内在住の方であればどなたでも、何点でも応募可能
受賞発表：ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011の3D部門上映会中で行う受賞式にて発表
賞名：シャープ大賞（1名）：賞金100万円／CG・アニメーション賞（2名）：各賞金30万円／3D賞（8名）：各賞金5万円
※シャープ大賞、CG・アニメーション賞に選ばれると、同時に同映画祭の3D部門に自動的にノミネートされます。
審査員：稲蔭正彦氏（慶応大学教授）、押井守氏（映画監督）、富岡聡氏（CGデザイナー）

※コンテストに関する詳しい情報は、下記ウェブサイトをご参照ください
www.sh3rdcontest.jp

［ SSFF & ASIA 2011 3D部門 ］

SSFF & ASIA 2011 3D部門
▼シャープ スマートフォン3Dコンテスト優秀作品発表
▼3D部門ノミネート
→ SSFF & ASIA 2011 3D部門ノミネート作品の中から優秀賞決定

▼2010年に実施された「3Dプログラム」を更に拡大し、部門化。
▼世界各国から3Dショートフィルムを収集
▼優秀賞決定、アワードセレモニーにて表彰
▼審査員：

押井 守（映画監督）
（「スカイ・クロラ」「攻殻機動隊」）

※シャープ スマートフォン3Dコンテスト審査員と兼任になります

審査員・押井 守監督より激励のコメント

映画を作ることは簡単です。ビデオカメラとPCと情熱があれば、映画を作ることは誰にでも可能です。ただし、映画を作る動機を見つけることは、誰にとっても難しい。映画でなければならない、貴方自身の中にある動機。憧れや夢だけでは、映画は満たせません。貴方にとって必要で、同時に世界の誰かにとって必要な映画。そんな切実な映画に出会えることを期待します。

■ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011 開催概要

日時：2011年6月中旬
会場：ラフォーレミュージアム原宿／表参道ヒルズ／
TOHOシネマズ六本木ヒルズ／ブリリア ショートショート シアター（横浜）
※映画祭オフィシャルウェブサイトは2011年5月初旬にオープン予定

SHORTSHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2011

■ご参考：ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（www.shortshorts.org）

米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、有名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年4000本以上にも及ぶ作品が、世界50以上の国や地域からよせられ、のべ14万人を動員するイベントです。これまでに、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、などでも開催され、2010年にはマレーシアでも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。また審査員には、大沢たかお、押井守、奥田瑛二、崔洋一、デーブ・スペクター、武田双雲、竹中直人、土屋アンナ、寺島しのぶ、野口健、堀北真希、村上龍、桃井かおり、山田優など多彩な顔ぶれをお迎えし、様々な視点から審査をして頂いています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。本映画祭参加監督には、今や米国アカデミー賞受賞監督として名高いジェイソン・ライトマン監督や、「カンフーパンダ」などPixarで活躍するマーク・オズボーン監督、シンガポールの新鋭、「881 歌え！パパイヤ」のロイストン・タン監督などがおり、今や第一線で活躍する監督も続々と輩出しています。

【報道関係者の方々からのお問い合わせ】
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局
〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷4-12-8 SSUビル4F
電話：(03)5474－8844 ／ FAX：(03)5474－8202 ／メール：press@shortshorts.org
PR担当：菊地・高橋